- 1 学年 第3学年3名, 第4学年5名
- 2 日時 平成27年1月21日(水) 第5校時
- 3 場所 体育館
- 4 題材名 段ボールタワー～四季のイルミネーション～
- 5 題材の設定理由

○ 本題材は、小学校学習指導要領(図画工作)に示された、A表現(2)に基づいて計画している。ペアごとに春夏秋冬のテーマを基に、光や影の味わいを生かした段ボールによる工作の学習を行う。題材のねらいは、光を生かした表し方に興味をもち、その効果を確かめながら発想し、光の特長を生かしながらつくることである。活動を通し、児童は、穴をあける位置・大きさ・数・形等によって味わいが異なってくることに、試行錯誤しながら気付くことができる。また、あけた穴に色付きのフィルムを貼ることで、色により連想するイメージが異なることにも気付くことができる。段ボールを材料に選ぶにあたっては、三つの理由がある。一つ目に、児童の身近にあるものを用いることで材料に親しみをもてること、二つ目に、紙の中でも少し抵抗感のある材質の面白さを味わえること、三つ目に、ある程度の堅さがあることで児童の手や体全体の感覚を働かせる活動になることである。

○ 本学級の児童は、全員が図画工作科の授業が好きと答えている。(10月22日実施 8名)図画工作科に対する意欲や関心は高いと言える。しかしながら、身近にある材料である段ボールを使って工作をした経験のある児童は4名である。また、「普段工作をしていますか」という問いに「はい」と答えたのは1名であった。また、「普段色や形を意識して景色を見えていますか。」の問いに「はい」と答えたのは2名であった。このことから、本学級の児童は図画工作科への意欲や関心は高いが、普段の生活の中で、工作にあまり親しんでいないことと、美意識を育むために大切な形や色については、あまり意識していないという課題があることが分かる。

○ 指導に当たっては、形や色に対し豊かな感覚をもたせることに重点を置いた。まず、テーマに対するイメージマップをかかせた後、色の美しい映像や画像でイルミネーションを見せたり、四季を感じる視覚的な資料を提示したりして、もう一度イメージマップをかかせ、想像を膨らませるようにする。また、イメージマップを交流することで他者のもつイメージと自分のイメージの相違に気付かせ、形や色を基に豊かなイメージを引き出していく。さらに、イメージマップに出てきた言葉を色や形に置き換えさせることで、作品の具体化に向けての手掛かりとする。活動の始めには、段ボールカッターの使い方やフィルムの貼り方など基礎的な技能を習得する時間を設け、工作に親しませ、技能の向上を図るようにする。

また、イルミネーションの鑑賞会には全校児童を招待して楽しんでもらうことを設定し、作品を見る相手を少しでも意識するとともに、喜んでもらおうという意欲をもたせたい。

評価に関しては、第3学年は、作品づくりに対する意欲や関心・発想や構想の能力を重点的に評価する。第4学年は、発想や構想の能力及び用具や材料の工夫などの創造的な技能を重点的に評価する。

6 題材の目標

段ボールを切ったり、フィルムを貼ったりしながら、材料や用具の特徴を捉え、形と色の組合せ方を工夫するとともに、自分のイメージを具体的な形にする活動に進んで取り組む。

7 評価規準

- 段ボールやフィルムを使って進んでイルミネーションを作ろうとしている。(造形への関心・意欲・態度)
- 表したいものを見付け、段ボールの形やフィルムの色をどのように組み合わせるか考えている。
(発想や構想の能力)
- 切った形やイメージに合った色を生かしながら、用具や材料を使って表し方を工夫している。
(創造的な技能)
- 感じたことを話したり、聞いたりしながら、作品の色や形の面白さを感じ取っている。(鑑賞の能力)

8 指導計画

第1次	題材のイメージを広げよう・・・・・・・・・・・・・・・・	1時間
第2次	段ボールカッターの使い方に慣れよう・・・・・・・・	1時間
第3次	段ボールイルミネーションを作ろう・・・・・・・・	4時間(本時3/4)
第4次	東小のみんなを招待しよう・・・・・・・・・・・・・・・・	1時間

9 本時の目標

作品のコンセプトを紹介することを通して、色や形から感じたことや考えたことを交流し、自分のイメージに合わせた表し方の工夫や改善点に気付いて改善しようとするすることができる。

10 本時の展開

学習活動	指導上の留意事項	[観点] 評価規準 (評価方法)
<p>1 前時を振り返り、本時の学習の見直しをもつ。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="177 663 1050 763" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>作品で表したいことを紹介し合い、感じたことや考えたことを交流して改善点を見つけよう。</p> </div>	<p>◇前時までの自分たちの活動や第1次に見た映像などを電子黒板で振り返ることによって、自分たちの作品への期待を高めるようにする。</p> <p>◇交流の後仕上げる時間をとることを伝え、より良い作品を作るための交流になるように意欲付ける。</p>	
<p>3 テーマごとの作品を実際に鑑賞し、コンセプトを紹介した後、キーワードを基に、そのグループの表し方の良さや改善点について「学習の足跡カード」に書く。書いたものを基に児童が気付き等を発表し、話し合いを行う。</p> <div data-bbox="113 1211 788 1480" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><予想される児童の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・あの形は、スイカの形をイメージしているのかな。 ・夏は暑いので暖かい感じの色、冬は寒いので冷たい感じの色だと思ったけど、夏は海の青や冬には暖炉の赤など人によって感じる色が違うんだ。 ・桜を表したいのなら、たくさん花びらの形に切って桜の花が散っているようにしたらどうかな。 </div>	<p>◇各グループの作品をじっくりと見る時間を設定し、気付きや思いをもたせるようにする。</p> <p>◇イメージマップや「学習の足跡カード」を基に、自分たちのイメージしたものを形や色に着目させながら説明できるようにする。</p> <p>※支援の必要な児童には「学習の足跡カード」を振り返らせるようにし、自分たちが表したかったことを、色や形に着目して考えることができるようにする。</p>	<p>[鑑賞の能力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の色や形の面白さを感じ取っている。 <p>(発言・学習カード)</p> <div data-bbox="1129 981 1337 1290" style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e6f2ff;"> <p>感じたことや考えたことを交流させる。</p> <p>キーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージ ・色 ・形 </div> <p>[発想や構想の能力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色や形に着目して表したいことを見付けている。 <p>(学習カード)</p>
<p>・改善点を「学習の足跡カード」に書き込む。</p>	<p>◇改善点を「学習の足跡カード」に書き込むことで、これから仕上げをしていく際の足掛かりにできるようにする。</p> <p>※一つのグループの作品を見て、「学習の足跡カード」に書き、それを基に良い点と改善点を交流する活動を4回繰り返す。</p>	
<p>4 交流を基に仕上げをする。</p> <p>5 本時のまとめと次時の確認をする。</p>	<p>◇交流で気付いたことやもらったアドバイスを基に、形や色を工夫してよりよい作品を作ることができるようにする。</p> <p>◇本時の活動のまとめをし、次時は作品を完成させて他の学年を招待する準備をすること伝える。</p>	